

# 令和6年度「地域発 元気づくり支援金」 事業実施結果一覧表（佐久地域）

※6は欠番

番号	事業名	申請者	事業内容 (主な用途 ①：ソフト事業 ②：ハード事業)	支援金額 (千円)	講評
1	令和6年度「小諸ワイン」ブランド化事業	小諸市	ワイングラスセッションや、小諸市及び近隣市町村のワイナリーが出店する年2回のワインイベント開催により、ワイン産業による雇用創出、人材流入、観光客の目的地として選ばれるまち小諸を創り、農業分野・観光分野など多方面で地域経済を豊かにする。 ①イベント準備費用（春）、イベント準備費用（秋）、小諸ワインプロモーション企画実施費用 ※R6優良事例・2年目	2,641	イベント開催により多くの地元住民やワイン愛好家に小諸ワインの周知を図った。 今後は千曲川ワインバレーの関連市町村等との連携により、更なる認知拡大が期待される。
2	佐久市地域防災マップ作成支援事業	佐久市	行政と地域の協働によって地域の特性や過去の経験に基づく「地域防災マップ」を作成することにより、地域独自の防災体制の構築を推進する。 ①地域防災マップ作成委託料 ※2年目	4,840	地域住民が参加して地区毎に独自の防災マップを作成し、マップ配布や講習会の実施により地域の防災意識の向上を図った。 今後は防災訓練をはじめ、マップの活用場面を増やして防災力向上につながる取組が期待される。
3	生物多様性保全活動検証事業	佐久市	野生鳥獣等による森林生態への影響や生物多様性の減少に歯止めをかけるため、昨年度に引き続き、森林生態系を維持・回復に向けた実証実験等を行うとともに、啓発活動を強化することにより、市民一体となった生物多様性保全活動を推進する。 ①専門家会議、コーディネータ、啓発活動、植生回復対策業務、調査委託費	4,050	調査により植生等の状況を把握したほか、講演会により住民への生物多様性に対する啓発を図った。 今後は調査によるデータの活用による市役所内関係各課との連携や住民意識向上による植生保護の取組が期待される。
4	フードシェアによる中食&飲食店におけるフードロス削減事業	佐久市	デジタル技術を活用したフードシェアリングサービスアプリ「T A B E T E」の導入・活用を促進し、市内中食・飲食店の食品廃棄量の削減、売上げや利益拡大を目指す。 ①加盟店募集委託費、広告宣伝費	1,584	フードシェアリングサービスアプリを導入し、登録店舗数は目標を達成したが、登録ユーザー数と食品廃棄処分量削減量は未達であった。 今後は参加者数を拡大させていくことにより、更なる廃棄処分量の削減量の増加が期待される。
5	小海町ゼロカーボン・ワーケーション基盤整備事業	小海町	ゼロカーボン・ワーケーション事業の実現に向け、実証実験や普及イベントを行うことにより、再生エネルギーに対する地域住民の理解を促進するとともに、ゼロカーボン・ワーケーション推進協議会の自走化に向けた共同事業の立ち上げを目指す。 ①ゼロカーボン推進に向けた協議会、実証試験、J-クレジットローンイベント、普及啓発	3,600	イベントや協議会を通じてゼロカーボンに対する住民の理解度向上や企業との連携が図られた。 今後は企業との連携を深めながら更なる住民の理解向上やワーケーションの具体的な取組が期待される。
7	女神湖畔の新シェアオフィスを拠点とした地域体験プログラム創出事業	立科町	女神湖畔エリアにおいて、自然の中で働き、暮らすように滞在中長期滞在者の満足度を高めるために、新シェアオフィスを拠点とした地域体験プログラムを創出する。 ①地域体験プログラム創出業務委託費	2,200	新たな地域体験プログラムを開発し、町でのワーケーションの魅力の向上を図った。 今後は、プログラムの積極的な周知によりワーケーション実施数の増加が期待される。
8	「上手な医療のかかり方」広報事業	佐久広域連合	ハンドブックや動画を作成して、地域住民一人ひとりに地域医療の現状や適切な受診行動を周知し、令和6年4月の医師の働き方改革スタート後も、持続可能な地域医療体制の確保を図る。 ①ポスター製作、番組製作	781	ポスターの制作・配布や動画の配信を行い、「上手な医療のかかり方」の周知を行った。 今後は制作した広報物の積極的な活用により、地域住民の理解を高める活動が期待される。
9	「星空」「鉄道」「街道」佐久地域魅力発信事業	佐久広域連合	佐久地域の資源を住民が学び、誇りを持ち、自らがその魅力を発信することによる認知度の向上と誘客を目指し、佐久地域星空探訪ツアー等イベントを実施する。 ①星空探訪ツアー、フォトコンテスト、観光プロモーション	1,431	モニターツアー、フォトコンテスト、観光プロモーションと、様々な角度から佐久地域の魅力の周知を図った。 今後も佐久地域全体の視点からの観光振興等の取組が期待される。

番号	事業名	申請者	事業内容 (主な用途 ①:ソフト事業 ②:ハード事業)	支援金額 (千円)	講評
10	高峰高原における哺乳類調査及び啓発活動事業	NPO法人浅間山麓国際自然学校(小諸市)	トレイルカメラを用いた高峰高原などに生息する生き物の調査、生き物パネルの展示、アニマルトラッキングイベントの開催などにより、最新の情報をビジュアルに提供するとともに、地域住民に高峰高原の魅力を広く発信する。 ①トレイルカメラ設置費、目撃情報マップ作成費、生き物パネル展示作成費、アニマルトラッキング経費	363	調査によりシカの生息実態を把握でき、その結果の展示により住民への啓発を図った。 今後も継続的に調査活動が実施され、高山植物の保護の取組につなげることが期待される。
11	「おめでとう」が行き交うウェディングでも選ばれる町へ	小諸ウェディング協会(小諸市)	公開型のウェディングフェスの開催により、若者が花嫁を見る機会となり、未来の喜びの選択肢へと繋がる。また、イベントを住民が地域の魅力を再発見する機会とすることで、小諸に住み続けたいと思う人や、主体的にまちづくりに参加する人を増やし、地域の活性化につなげる。 ①フェス開催関連費用、相談窓口関連費用	1,523	イベントや相談会を通じて地域の若者が地元で結婚式を挙げるためのPR活動を行った。 今後も継続的な周知活動により、地元での結婚式数増加につながることが期待される。
12	御影用水の観光、教育、啓発推進事業	御影用水・陣屋応援隊(小諸市)	用水浚いの体験イベントや用水の歴史等についてのオンライン講習会の開催、用水の歴史と役割の広報、啓発パンフレット等の配布、史料館の施設整備などを通じ、御影用水・千ヶ滝湯川用水の維持及び観光、教育、災害防止を図る。 ①史料館整備費、啓発用品等経費 ※R6局長表彰、3年目	590	講習会の開催やパンフレット等の教材制作・活用により、御影用水の地域での啓発や観光促進を図った。 今後も制作した教材の積極的な活用による更なる啓発活動が期待される。
13	飯綱山公園プロジェクト“Inspire the Park”	飯綱山公園活性化事業実行委員会(小諸市)	市、地域住民、商工会議所、観光局などが協働し、年間を通じた公園づくりワークショップや勉強会、また、公園内の装飾とイベントを開催することにより、特色のある観光地域づくりを進める。装飾作業やイベント開催時に、市内外学生などが参加することで、市内外への波及効果や地域への愛着の醸成も目指す。 ①ワークショップ・勉強会費用、装飾・イベント費用 ②ワークショップ・勉強会費用、イベント費用 ※2年目	2,421	夏祭り、イルミネーション点灯等各種イベントの開催で来場者の増加につながった。 今後は地域住民や関係者が更に主体的に関わって継続的に新たな取組がなされ、公園の魅力が向上することが期待される。
14	商家の自慢を観光資源に！「商都小諸ミュージアム」と「町めぐり企画」	本町区(小諸市)	商家の歴史を伝える「商都小諸ミュージアム」の設置、パンフレットの作成、「ほんまち商家のご自慢ツアー」の実施を通じ、地域の方々が豪商のまちの誇りを取り戻し、それを観光資源として形にして発信することにより、町並み保存、歴史観光の気運を高める。 ①ミュージアム設置費、パンフレット作成費、ツアー実施費用	748	地域住民協働により、「ほんまち町屋館」に展示スペースの設置等を行った。 今後は展示スペースや制作したパンフレットの有効活用により、観光資源として魅力を高めていくことが期待される。
15	介護予防住民指導者育成事業	介護予防住民指導者育成支援協議会(佐久市)	住民主体による「通いの場」を提供・運営する住民指導士を養成し、「地域包括ケアシステム」の構築を目指すとともに、介護予防事業を担う住民運動を長野県から発信する。 ①講習会・フォーラム経費(932千円) ※R5知事表彰、3年目	730	養成講座を継続して開催し、地域の住民指導士の数を増やしたほか、フォーラムに多くの関係者を集めて介護予防の取組の知識の理解を深めることができた。 今後は養成した住民指導士が継続的に地域で活躍できる取組が期待される。
16	ウォーキングイベント「佐久びんころウォーク」の開催に係るPR事業	佐久びんころウォーク実行委員会(佐久市)	ウォーキングイベント「佐久びんころウォーク」をPRすることにより、佐久地域の健康長寿ブランドの全国的な発信と交流人口の創出による地域全体の活性化を図る。 ①参加申込書製作費、ポスティング経費、公式HP構築費、SNS記事作成費等	1,179	SNS等の情報発信を行うことにより定員を上回るイベントへの参加者数を確保した。 今後も継続的に情報発信を工夫してイベント参加者を確保していくことが期待される。
17	小海線沿線スタンプラリー	小海線沿線地域活性化協議会(佐久市)	小海線の駅や周辺スポットをめぐるスタンプラリーを実施して小海線や沿線地域の風土に触れる機会を創出し、沿線地域へのさらなる誘客につなげる。 ①チラシ制作料・印刷料、ステッカー記念品制作費、ポスター制作料、印刷料、ホームページ作成費、広告費、スポットツアー費、記念品郵送料・封筒代	922	スタンプラリーの参加者数は目標に到達しなかったが、今後は参加者からのアンケートを基に、新たな利用促進策の企画が期待される。

番号	事業名	申請者	事業内容 (主な用途 ①:ソフト事業 ②:ハード事業)	支援金額 (千円)	講評
18	オール佐久による「産・学・医・官・民」の連携～SAKUメッセ2024～	一般社団法人佐久産業支援センター(佐久市)	佐久市の強みである「健康長寿・医療福祉」と「尖った技術」を結び付け、佐久市を「快適健康都市」としてブランディングし、域外へPRするため、ビジネスマッチングの場等を提供するSAKUメッセを開催する。 ①メッセ開催経費 ※3年目	5,000	メッセの開催により地域内外の関係者に地域の企業のPRを行った。今後も継続的に開催することで、ビジネスの拡大が期待される。
19	「渋沢栄一と第二のふるさと佐久」市民参加による地域観光振興の推進	佐久商工会議所(佐久市)	渋沢栄一と佐久との関りについて、スタンプラリー、物産展・パネル展、講演会、ミュージカル、ツアー等を実施することにより、市民理解を深め、観光振興につなげる。 ①スタンプラリー経費、物産展・パネル展・機織り体験経費、パンフレット製作費、講演会経費、ツアー開催費、ミュージカル経費	3,316	イベント等の開催を通じて、渋沢栄一と佐久地域の関わりについて周知し、観光振興を図った。今後は本事業による地域内外の繋がりを活かして継続的に観光振興につながる取組が期待される。
20	有機堆肥で環境に優しい農産物作り	山の中ガーデン小径(佐久市)	有機堆肥を使った環境に優しい農作物作りコンテスト、親子で作るおやつ作りや上映会、味噌作りワークショップなどを開催することにより、農業を使わない環境再生型農業の実践に繋げ、カーボンニュートラルを推進する。 ①有機堆肥作り講習会、コンテスト開催費、上映会・ワークショップ開催費 ※3年目	470	イベント等により環境に優しい農産物づくりに関わる関係者を増やすことができた。今後の継続的な活動により参加者を増やしていくことが期待される。
21	佐久酒造協会13歳とご当地グルメが共同開発する新たな地域の食文化発信事業	信州佐久安養寺ら～めん会(佐久市)	酒造組合佐久支部、安養寺ら～めん会、ケーキ職人の会が連携し「酒蔵コラボラーメン」、「酒蔵コラボスイーツ」という新しい食文化をつくり、佐久地域の観光への動機づけまで発展させることにより、交流人口を増やし、地域経済への貢献を図る。 ①パンフレット・ポスター等印刷、広告費、撮影費、ピンバッジ・グラス作成	2,481	佐久地域の特徴的なグルメのコラボによるメニューを開発し、スタンプラリーでは多くの参加者を集めた。今後は開発したメニューの更なる認知度向上と飲食業界の発展が期待される。
22	まるごとつながるフェスタ佐久平	まるごとつながるフェスタ佐久平実行委員会(佐久市)	J R佐久平駅南エリアにおいて、佐久市や周辺自治体、市民団体、企業等が連携して各イベントを実施することにより、地域活性化や観光PRを実現し、住民や地域との交流をさらに深める。 ①広告物、スタンプラリー景品、人件費等、車道使用料	3,853	多くの地元企業・行政の参加を得て前回から規模を拡大し、多数の地域住民が訪れ、特に地域企業・団体のPRの場となった。今後も関係者を増やししながら魅力的なイベントとして開催されることが期待される。
23	「つくろう！“舞台芸術の日”」子ども実行委員会事業	佐久地域”舞台芸術の日”運営委員会(佐久市)	「子ども実行委員会」を組織してカンパニーデラシネラによる公演(はだかの王様)やワークショップを実施し、子どもとともにつくる本物の芸術鑑賞の機会を創出する。 ①旅費、広告費、保険料、公演等、ホール、会議室 ※2年目	1,656	地域の子どもの主体になって、ワークショップや公演を作りあげ、満席の参加者を得るなど、好評を博した。また、地域企業の協賛も多数集めており持続的な活動が期待される。
24	小海町・佐久穂町同盟協定に基づく「若者に選ばれる事業者育成事業」	小海町商工会(小海町)	地元の人材確保のため、小海町、佐久穂町、両町商工会が連携し、求職者や求人企業向け冊子の作成や就職相談会の実施等により、求人情報の訴求力向上を図る。 ①事業者育成用研修、チラシ、HP作成	3,049	隣町の2町の商工会が連携し、若者への企業の認知拡大や地元企業の採用ノウハウの向上を図った。今後も継続的な取組により、地元企業の採用実績の向上が期待される。
25	JR小海線で行く車いすの旅事業	小海線とふるさとを愛する会(小海町)	地域住民の足である小海線を活用したユニバーサル社会の実現に向けた取組みとして、地元の学生にボランティア参加を募り、車いす利用者を対象にした列車の貸切イベントを実施し、小海線の車いす利用者の促進を図る。 ①イベント事業費	300	貸切イベントには多くの車いすユーザーが参加したほか、地域の生徒・学生や医療スタッフなど、多くの協力者を集め、全国ニュースで取り上げられる等、注目を集めた。

番号	事業名	申請者	事業内容 (主な用途 ①：ソフト事業 ②：ハード事業)	支援金額 (千円)	講評
26	JR小海線ファン検定とクイズ列車事業	小海線とふるさとを愛する会(小海町)	小海線の維持存続のため、民間資格として「JR小海線ファン検定(仮称)」を設け、小海線を利用したクイズイベントを開催することで、知名度と話題性の向上を図る。 ①イベント事業費	240	イベントには全国各地から参加者を集め、メディアからも高い注目を集めた。今後はイベントを通じたレガシーを残す取組が期待される。
27	南牧村に自生する希少植物の保全事業～豊かな自然を次世代に引き継ぐために～	のべやま山野草プロジェクト(南牧村)	絶滅危惧種「タルミスゲ」等移植するとともに、絶滅危惧種ハンドブックの作成や出前授業の実施により多種多様な植物環境の保全を促進し、身近なSDGsの実践を通して地域における環境意識の向上を図る。 ①材料費、看板作成ハンドブック作成、印刷代 ②タルミスゲ移植工	1,507	移植と保全活動により絶滅危惧種の保存につながったほか、観察会やハンドブックの制作で地元住民への啓発を図った。
28	かるいざわざわ 2024～創造と想像がまちとひとを彩り対話が生まれる～	「かるいざわざわ」実行委員会(軽井沢町)	実行委員だけでなく、参加者や鑑賞者となる住民も創るプロセスに主体的にかかわり、町内各所を会場とした芸術祭を開催することで、まちづくりへの主体的な住民参画を促進し、軽井沢町への愛着形成や具体的な行動につなげる。 ①イベント開催、情報発信・記録費広報宣伝費等 ※2年目	4,955	芸術イベントを通じて地域住民の街づくりへの参加の促進を図った。今後は更なる地域住民や関係者の参加者の増加が期待される。
29	子どもも大人も一緒に考える「食品ロス」	ナカマノコエ(軽井沢町)	「家庭の生ごみ資源化＝生ごみの堆肥化」をテーマにした啓発活動を通して食品ロス削減に関する情報を発信し、知識や関心を持つ人の増加を目指す。 ①電波料・番組制作費、チラシ作成費、書籍代等	1,168	住民1人あたりのゴミ排出量が県内で最も多い軽井沢町民に向けて、メディアやイベントを通じて啓発を図った。今後も継続的な活動を通じて理解促進が期待される。
30	御代田町「食の風土記」制作事業	農村女性ネットワーク御代田(御代田町)	郷土学習の教材として「御代田の食の風土記」を作成し、発刊イベント地域への普及・広報活動を実施することで、地域住民に広く伝統食の普及を図る。 ①「御代田の食の風土記」制作費、ダイジェスト版製作費、発刊イベント	2,295	地域の伝統的な食文化の伝承のため冊子を作成し、イベント等を通じて地域住民への普及を図った。今後は制作した冊子の積極的な活動による更なる普及の促進が期待される。
31	正しく歩いて健やかに高齢者の健康寿命延伸事業	ちょこっとストレッチ教室(御代田町)	気軽に参加できるストレッチ教室を開催し、正しい歩き方を身に付けることを目標とする。これによってウォーキングなどの健康習慣を始めやすくし、医療や介護を必要とする場面を減らすことで、本質的な生活改善を図る。 ①募集告知費、通信費、事業費、消耗品費、衛生費、運営費用 ※R6知事表彰、2年目	1,813	運動教室に年間を通じてのべ1万人以上の参加者を集め、多くの町民に対して身体機能維持・向上の機会を提供した。今後も継続的な活動による町民の健康増進が期待される。
32	駅を拠点とした広域サイクリングとデジタルマップとの融合による歴史に触れる新たな観光推進事業	東信州中山道連絡協議会(立科町)	東信州中山道の魅力と、駅を拠点とした広域サイクリングコースを設定し、サイクリングとデジタルマップストロリーを合わせて当該地域の認知度アップと誘客に繋げる。 ①ストロリーの情報追加等、モニターツアー企画・運営	2,044	デジタルマップに新しいサイクリングコースを設定したほか、コレクションカードの作成・配布により観光客の増加を図った。今後は、作成したコースの継続的な周知により、認知度向上が期待される。
33	令和6年度「小諸の桃」ブランド化事業	小諸市営農支援センター(小諸市)	浅間水蜜桃のイベント開催やロゴマーク作成を通じ、浅間水蜜桃のブランド価値や認知度の向上、新規就農者の確保につなげるとともに、既存桃農家の誇りを高める。 ①ASAMA PEACH FES' 24の開催、小諸の桃ロゴ制作	400	イベント開催で認知度向上を、ロゴマークの制作でブランド力向上を図った。今後は作成したロゴマークの利活用により、桃のブランド価値向上が期待される。

番号	事業名	申請者	事業内容 (主な用途 ①：ソフト事業 ②：ハード事業)	支援金額 (千円)	講評
34	小諸マチナカ回遊プロジェクト「こもろ浪漫」	小諸マチナカ回遊プロジェクト実行委員会(小諸市)	旧北国街道沿いの寺社をアートやデザインといったモダンな視点で発信し、小諸市街地の経済活性化や歴史ある寺社・町家の維持管理意識を高めるきっかけとする。 ①寺社巡りイベント	374	寺社の観光資源としての可能性に着目し、イベントを開催して街中の活性化を図った。 今後は更なる関係者の巻き込みや収入源の確保により継続的な開催が期待される。
35	シニアも活躍する岩村田の子どもの居場所事業	岩村田本町商店街振興組合(佐久市)	シニアによるシニア向け講座を開催するほか、不登校・引きこもりの子どもたちへの寄り添い、子どもたちの放課後の居場所づくり等にシニアの力を活用し、多世代交流を実現させ、地域コミュニティの再生に取り組む。 ①「あなたの自慢の講座」開設事業、不登校等の子どもたちへの寄り添い事業、「おいでん処」放課後支援事業、HP改修	1,261	商店街を活用した子どもの居場所づくりにシニアの力を取り入れるための事業を行った。 今後も更なる関係者の巻き込みによる活動の継続が期待される。
36	ジモトのタツジン普及計画	公益社団法人佐久青年会議所(佐久市)	子どもたちに佐久地域の伝統文化を活用した教育や体験の機会を提供し、地域への愛着を高めるため、伝統文化体験施設等を紹介する「ジモトのタツジン」の作成と、実際に伝統文化体験ができるノートの普及イベントを実施する。 ①ジモトのタツジン製作、イベント開催	1,063	地域の名所や伝統文化を紹介する子ども向けの冊子を制作し、イベントの開催で周知を図った。 今後は制作した冊子が活用される仕掛けづくりの取組が期待される。
37	地域いきいきスマイルマルシェ	一般社団法人軽井沢青年会議所(軽井沢町)	移住者や地元住民に地域の魅力を感じてもらうため、軽井沢町・御代田町等の事業者ブースを集めたマルシェを開催し、移住者と地域住民が交流できる場を創出する。 ①会場設営、広報	447	移住者を含む地域住民に地元の店舗や団体を知ってもらうためのイベントを開催したが、来場者目標を下回った。 今後は周知の工夫など通じて参加者増加の取組が期待される。
38	軽井沢の「食」と「環境」をつなげる事業	軽井沢オーガニック給食を考える会(軽井沢町)	環境に優しい農業やエシカル消費を推進するため、軽井沢町内のイベントで有機農産物を販売する場を設けるほか、同町内学校への出張授業や有機農家・シェフ・医師による対談イベントを実施し、住民の有機農業への理解を深める。 ①軽井沢Ecological Farm Stand出店、対談イベント、広報等	405	イベントや販売を通じて有機農業に対する理解向上を図った。 今後も継続的な取組による認知度拡大が期待される。